

地域をまもり 未来を創る まちづくり



千葉開府 900年

千の葉に 時を刻んで 900年

2025年度下期 市長と語ろう会



千葉市立郷土博物館
CHIBA CITY FOLK MUSEUM

すべての世代で“転入超過”

転入超過数（上位10都市の年代別内訳）

住民基本台帳人口移動報告 2024年（令和6年）結果

順位(R5)	都市	総数	0-9歳	10-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60歳以上	対前年 増減数	(順位)
1(1)	東京23区	58,804	-8,689	8,377	87,549	-4,841	-4,645	-5,523	-13,427	4,905	(1)
2(2)	大阪市	16,090	-3,131	1,652	18,547	-1,913	153	493	289	3,124	(4)
3(4)	札幌市	10,830	610	2,151	2,149	927	899	797	3,297	1,897	(6)
4(3)	横浜市	10,805	-408	1,811	8,783	1,801	380	-734	-828	1,074	(10)
5(5)	福岡市	8,507	-100	2,248	5,254	121	310	-48	722	-404	
6(8)	千葉市	8,399	734	846	3,095	1,891	681	256	895	3,311	(2)
7(6)	さいたま市	7,159	683	553	3,382	2,001	366	-66	241	-472	
8(7)	川崎市	6,461	-2,278	874	12,355	-1,503	-1,038	-1,112	-836	986	(13)
9(27)	名古屋市	4,515	-1,660	12	6,393	-750	49	0	469	3,303	(3)
10(16)	松戸市	2,958	75	262	2,151	384	24	26	37	1,070	(11)

0～9歳は全国3位（政令市の中では1位）、30～49歳は全国1位


千葉市は、
子育て世帯を含む
全世代で転入超過
首都圏政令市で千葉市のみ！

東京23区や川崎市は、
0～9歳や子育て世代で
転出超過



「地域をまもり、未来を創る」まちづくり

【現状と課題】

- ・市全体で見ると転入超過により依然人口は増加基調ではあるものの、今後人口減少局面に移行することは不可避。人口減少圧力を緩和し、都市機能を維持することが重要
- ・当市は経済と文教の拠点都市としての性質が強く、働く場所や学ぶ場所があるため、市内に居住する方が多くなっている。雇用創出につながる施策を推進して、都市としての拠点性を維持・向上することが重要
- ・地域のつながりを回復し、文化・スポーツ活動の活性化等により千葉市に対する愛着と誇りを醸成



そのために…

- 市内企業の事業継続支援や企業立地により雇用の場を創出。民間投資を促進
- 都内とのアクセスを改善する道路と鉄道の広域ネットワークを強化
- 子育てと仕事を両立できる環境整備。忙しい子育て世代の時間を生み出す取組みを推進
- 多様な主体との連携により「地域のちから」を引き出し、安全・安心に暮らせるよう地域をまもる

「地域をまもり、未来を創る」まちづくり

地域をまもり、未来を創るまちづくり

01

「地域をまもる」

足許の地域の課題をつぶさに把握し
スピード感を持って対処する

- ① 安全な下水道を維持するための取組み
- ② 持続的な公共交通ネットワークの構築
- ③ 切れ目のない子育て支援
- ④ 窓口での負担軽減に関する取組み
- ⑤ 地域医療を支える
- ⑥ 健康づくり（介護予防）の充実
- ⑦ 災害対応体制の強化、防災力の向上



02

「未来を創る」

都市基盤を強化することで
持続可能な未来を創る

- ① 公園の再整備・都市としての魅力向上
- ② 脱炭素社会の実現と地域経済の活性化
- ③ 道路ネットワークの形成
- ④ 千葉開府 900 年に向けた取組み・
千葉国際芸術祭2025の開催
- ⑤ 千葉開府 900 年に向けた取組み・
郷土博物館のリニューアル
- ⑥ 900 年の歴史を受け継ぎ、
地域のちからを未来につなげる



安全な下水道を維持するための取組み

点検手法の構築などを含め、インフラの安全・安心な維持管理を確実に行うため、これまでに以下の取組みを実施

浸水対策

13の重点地区のうち4地区で実施中

老朽化対策

年数の経過した管路のテレビカメラやドローンでの調査などを実施し、必要な修繕および改築を実施

耐震化対策

緊急輸送道路に埋設された管路や、防災拠点と下水処理場をつなぐ管路などの重要な幹線等の耐震化を実施
(2024年度末：845kmのうち87.5%完了)

下水道管の特別重点調査

埼玉県八潮市の道路陥没事故を受け、対象管路の調査を実施。優先実施箇所の調査が終了し、経年劣化により、一部の管路で腐食やクラックなどが見受けられたが、管の構造としては問題なし

新しい技術を用いた取組み

ドローンを用いた雨水貯留幹線の点検を実施



雨水を貯め、浸水から街の安全をまもる雨水貯留槽



特別重点調査の様子

<持続可能な運営に向けて>

経営面での取組み

- 下水処理の過程で汚泥を焼却していたが、汚泥の燃料化技術の導入により、汚泥処分費を削減
- 管路の包括的民間委託の対象範囲拡大により、維持管理費を削減

これらによる資金不足縮減額⇒約1億円（2026年～2027年）

- 上記取組みを行ったうえで、下水道の適切な維持管理と計画的な改築などを着実に進めていくため、さらに不足する資金を補う必要があることから、2026年4月に使用料を平均13.6%改定



環境面での取組み

- 下水処理場内での汚泥の燃料化や太陽光発電を行うことで、下水処理の際に発生する温室効果ガスの抑制を図る

安全な下水道を維持するための取り組み

千葉市ではドローンを用いた雨水貯留幹線の点検を実施しています

下水道管内をドローンが
点検している動画

ドローンでも下水道管の中を点検しているんだね！



カワウソー家

持続的な公共交通ネットワークの構築

持続可能なバスネットワークの実現に向けた取組みを進めるとともに、地域の移動手段の確保に取り組む

生活交通バス路線維持支援

生活交通として必要なバス路線を維持するため、バス事業者に対し、運行に係る経費の一部を助成
支援対象路線である大巖寺線土休日便復便後の利用者数

(土休日のみの日数)

令和7年	6月	7月	8月	9月	10月
利用者数/日	62	77	94	95	104
利用者数/便	6.2	7.7	9.4	9.5	10.4

バス路線の維持・確保施策検討

運転手不足などのバス事業を取り巻く厳しい状況を踏まえ、バス路線の維持・確保のため、市が所持する人口動態データやバス事業者が所持する運行・利用者数などバス情報データから交通需要などを推計・整理し、そのうえで今後、効率的な経路や運行頻度などのシミュレーションを実施予定



バス事業者と協議・調整を図りながら
持続的なバス路線ネットワークの形成につなげる

地域公共交通支援

路線バスやタクシーの運転手不足への対策として、運転手養成支援や求人支援を実施

新たな地域公共交通導入に向けた社会実験

地域特性などを考慮した
地域主体によるデマンド型
交通の社会実験を実施



高津戸乗合タクシー

グリーンスローモビリティ（グリスロ）

スポット的に公共交通へのアクセスが困難な地域において、地域の方々とともに地域の移動ニーズにきめ細かく対応



グリスロ

切れ目のない子育て支援

千葉開府 900 年
千の葉に 時を刻んで 900 年

社会全体で子育てを支え、こどもを産み育てたいと思える環境づくり

6 年連続待機
児童ゼロ継続中！

妊娠前～妊娠期からの支援

子育てしやすい 保育環境の充実

教育環境の充実 不登校対策の推進

- ・プレコンセプションケアの推進
- ・プレコンセプション健診費用助成
- ・伴走型相談支援
- ・エンゼルヘルパー派遣
- ・産後ケア
- 利用者負担減額・多胎児利用
上限回数増
- ・乳児一般健康診査
- ・子ども医療費助成(高3まで拡大)
- ・こども発達相談室運営



- ・民間保育園等整備
- ・保育士等給与改善
- ・ちばし幼児教育・保育人材支援センター運営
- ・医療的ケア備品等整備助成
- ・病児・病後児保育運営支援
- ・公立保育所主食提供
- ・公立保育所紙おむつのサブスク実施
- ・乳児等通園支援事業
- ・保育料負担軽減対策



- ・体育館冷暖房設備整備
- ・小学校専科指導のための
非常勤講師の配置
- ・教員奨学金返還サポート
- ・ライトポートの支援体制強化
- ・ステップルームティーチャー活用
- ・各種カウンセラー活用
- ・学びの多様化学校
- ・フリースクール運営委託
- ・千葉市子ども・若者総合相談
センター【Link(リンク)】



児童虐待防止対策の強化

- ・新児童相談所等の整備(中央区末広)
- ・一時保護所等入所児童の意見表明等支援
- ・こどもの権利救済相談窓口の配置
- ・親子関係再構築支援

切れ目のない子育て支援

教育環境の充実を目指し、多様な学びを支えるための環境を整備する

教育環境の充実

- ・ 市立小・中・中等教育・高・特別支援
学校の体育館の冷暖房設備整備
- ・ 小学校専科指導のための非常勤講師の配置
- ・ 教員奨学金返還サポート



不登校対策の推進

- ・ ライトポートの支援体制強化
- ・ ステップルームティーチャー活用
- ・ 各種カウンセラー活用
- ・ 学びの多様化学校
- ・ フリースクール運営委託・支援
- ・ 千葉市子ども・若者総合相談センター
【Link(リンク)】



ステップルームティーチャー
活用の様子



ライトポートでの栽培活動

こども・若者施策の推進

全てのこどもが将来に夢と希望を持って成長できる社会を実現する

「千葉市こども・若者基本条例」制定

- すべてのこどもたちが自分らしくいきいきと健やかに成長できるよう
社会全体でこどもや子育て家庭を支援する機運の醸成
- こどもの権利の保障をはじめ、こどもに関する施策の総合的な推進



こども・若者会議の様子

＜条例に基づく取組み＞

・ こども・若者会議の設置

市政やまちづくりに関する提案をいただく

【議題】こどもの読書活動、若者の生活環境など

・ こどもの権利救済相談窓口の設置

こどもの権利の侵害等について迅速に救済等を行う

＜こどもの成長を支える学びと家庭支援の取組み＞

・ 学びの多様化学校

特別な教育課程を整備した
「学びの多様化学校」を開校

・ こども家庭センターの設置

母子保健機能と児童福祉機能が一体的運営を
行うことにより、全ての妊産婦、子育て世帯、
こどもに対し、切れ目のない支援を行う



↑こども若者会議の
市HPはこちら

窓口での負担軽減に関する取り組み

市民等の窓口手続きの負担軽減を推進

行なくていい窓口の仕組みづくり

- 市民の方の窓口来所負担軽減のため、以下の取り組みを実施
 - ・住民票・印鑑証明書等などのコンビニ交付サービス
 - ・電子行政サービス

開庁時間（窓口・電話受付時間）の変更

- 市民サービスの向上につなげるため、業務の効率化や適正化を図り、2026年1月から市役所本庁舎や区役所などの受付時間を変更します（現行 8:30～17:30→変更後 9:00～17:00）



利用しやすい窓口づくり

- 区役所窓口での手続きに伴う負担の軽減を図るため「書かない窓口」を導入
対象施設：各区市民総合窓口課、市民センター
※対象となる手続きについては、マイナンバーカードなどの本人確認書類をご提示いただき、申請書をシステムで作成するため、申請者は内容を確認して署名するだけで済むようになります
- 窓口の混雑を緩和し、来庁者の利便性向上を図るため、証明書自動交付機を導入
対象施設：中央区役所

千葉市役所ではナチュラルビズを推奨しています

- 2024年5月から、職員が働きやすく、能力を発揮できる職場環境を実現するため、通年でノーネクタイ・ノー上着等の快適で働きやすい服装で勤務する通年輕装（ナチュラルビズ）を導入しています。

POINT

当日の業務内容や気候など、TPOに応じた服装を選択することで、業務効率の改善が期待できます



地域医療を支える

両市立病院の強みと特徴を活かし、総合力を強化し、胎児から高齢者まで切れ目のない地域医療を提供する

（仮称）千葉市立幕張海浜病院について

- ①胎児から高齢者まで切れ目のない医療の提供
- ②整形外科の強化
- ③救急医療の強化
- ④災害医療の強化
- ⑤がん診療体制の強化
- ⑥感染対策の強化



2026年頃
開院予定

外観イメージ（花見川通り側）

病院の経営について

診療報酬が昨今の物価・労務単価の高騰に見合っておらず、さらに、病床稼働率が75%（青葉病院・一般病床 84%、海浜病院 72% 2024年度実績）であることから、2期連続で経常赤字を計上するなど厳しい運営状況になっている
また、市立病院には、救急・小児・周産期・災害・感染症・精神などの不採算・特殊部門に関わる医療（政策的医療）の提供を担う役割があることから、その運営に対して一般会計からの支援などを行い、経営を維持している

青葉病院と幕張海浜病院の役割分担について

個々の病院ですべての診療科を揃えることは医師確保等の観点から難しいため、両市立病院で役割を分担し、市民が必要とする医療を地域で切れ目なく提供

（主要な診療科）

青葉病院 血液内科、整形外科、泌尿器科、精神科など

幕張海浜病院 小児科、新生児科、産科、救急科など

医療連携協定について

地域医療の充実・強化を図ることを目的に、青葉病院と千葉大学医学部附属病院で医療連携協定を締結

※千葉大学病院の病床や医療資源をより多くの三次救急患者に充てることができ、市立青葉病院は千葉大学病院で初期処置した患者を迅速に転院の受け入れることができるため、病床稼働率向上につながります

健康づくり（介護予防）の充実

少子高齢化が全国的に進行している中において、誰もが健康で自分らしく安心して暮らし、活躍できる環境を整備する

フレイル予防・改善について

① 高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施

フレイル状態の高齢者（※）を対象に、医療専門職がご自宅に伺い健康状態の確認とともに、口腔ケアやバランスの良い食事など、健康づくりのアドバイスを行う。

（※健診の結果から把握し、該当者には市よりご連絡いたします）

③ シニアリーダー養成・地域活動支援

自主的な介護予防活動のリーダー
（ボランティア）の養成

住民主体による地域住民のフレイル予防の促進

② フレイル改善事業

リハビリ専門職（理学療法士・作業療法士）が週に 1 回程度ご自宅に伺い、その方に合わせた運動や生活の工夫についてアドバイスを行う。

（対象となる方は、基本
チェックリスト該当者・要支援
認定者です）



フレイルイメージ図

健康寿命を伸ばすキーワードお伝えします

① 閉じこもらずに人とつながろう

☆自治会やボランティアに参加すると、地域の人たちとの交流が深まるだけでなく、体を動かす良い機会になり、自身の健康の維持・増進につながります。

② よく噛んで栄養を取ろう

☆バランスの良い食事を意識し、三食しっかりと栄養を取りましょう。また、噛み応えのある食品をよく噛んで食べたり、定期的に歯科健診を受けましょう。

③ 運動をしよう

☆掃除や洗濯のついでに屈伸運動やストレッチをするなど、無理のない範囲で日々の生活に軽い運動を取り入れましょう。

災害対応体制の強化、防災力の向上

災害に強いまちづくりを実現するため、最新の被害想定を踏まえた防災に関する計画の策定・見直しや避難所の環境整備を進める

災害対応体制の強化

- ・ 想定最大規模の高潮における避難
風水害被害想定調査の結果を踏まえ、被害が最も大きくなる高潮について、避難計画を策定
- ・ 地震被害想定の見直し
千葉市直下地震において想定される建物被害・人的被害や生活への影響を調査
- ・ 防災備蓄倉庫の整備
マンホールトイレ用資機材等を保管するため、
2025年度までに市立学校等の指定避難所264箇所を追加整備予定

WC 日頃の準備が大切です WC

携帯トイレ備蓄推奨量

1人1日約5回×家族の人数×7日分以上が必要とされております
(例) 4人家族の場合…約140回分以上必要です。
3人家族では約105回分以上、2人家族では約70回分以上、単身世帯は約35回以上が目安となっています



携帯トイレ

マンホールトイレの整備

- ・ 災害時に避難者の健康保持を図るため、
市立学校166箇所に加え、県立高校へマンホールトイレを整備

消防力の充実・強化

- ・ 新機体「おおとり2号」の運用開始 (2025年11月～)
- ・ 2機による365日運航体制
- ・ 岩手県大船渡市山林火災への職員派遣
期間：2025年2月～3月
派遣人数：159人



おおとり2号



火点搜索・消火活動

公園の再整備・都市としての魅力向上

「居心地が良く歩きたくなるまちなか」を形成することにより、交流・滞在を促し、まちなかに賑わいを生み出す

官民連携による公園の魅力向上

- 千葉公園

芝庭などの新たな賑わいや
交流を生む施設を整備



芝庭
(千葉公園)

- BOTANICA MUSEUM

花の美術館が、芸術性を高めた
「BOTANICA MUSEUM」としてリニューアル

BOTANICA MUSEUM
(稲毛海浜公園)



- 幕張海浜公園

広場やカフェ、明るく快適な緑陰などを
2027年夏頃に整備

千葉マリンスタジアムの再構築

幕張新都心の新たなまちづくりの拠点となる施設として、
幕張メッセ駐車場にスタジアムの再構築を目指す



ZOZOマリンスタジアム

中央公園プロムナードの再編検討

「車中心」から「ひと中心」のまちづくりへの転換に向け、
「交流が生まれる場所」へ再編するため、広くまちづくりに
関わる方々とともに検討を進める



中央公園プロムナード

脱炭素社会の実現と地域経済の活性化

地球規模の気候変動に伴う様々な影響・リスクに対し、持続可能な仕組みづくりを行う
市内の雇用の場の創出し、経済活性化と雇用創出を目指す

脱炭素先行地域事業

2026年度に基本的に全ての市有施設の
電力消費に伴うCO₂ 排出実質ゼロを実現

- 市有施設等への太陽光発電設備の設置
- 清掃工場余剰電力を活用するためのシステム構築
- 市遊休地への太陽光発電設備の導入に係る調査



エコ葉

小型充電式電池等拠点回収

- 拠点回収4か所→12か所
(リチウムイオン電池・モバイルバッテリーを回収可能)
(環境事業所3、新浜リサイクルセンターに加え、市役所、区役所6、商業施設1の計8か所を追加)
- 新規の8か所には回収用のボックスを設置

プラスチック資源の分別収集・再資源化

- 2027年12月から、プラスチック資源の分別収集を開始
(ごみステーションで週1回収集)

企業立地促進、産業用地確保により雇用を創出

- 2015～2023年度までの補助金交付企業がこれまでに14,000人以上の雇用を創出
例：メルセデス・ベンツ日本（合）本社
メルセデス・ベンツ・ファイナンス（株）本社
東洋エンジニアリング（株）本社
イオンネクスト（株）次世代型ネットスーパー拠点（株）Peace Deli 食品製造工場
- 官民連携により産業用地を整備するとともに、企業誘致にも取り組んでいる



ネクストコア千葉誉田

税収786億円
2015年度～
2023年度

浜野四街道長沼線の整備
2018年8月開通

大木戸I.Cのフル化
2017年3月開通

千葉開府900年に向けた取組み・千葉国際芸術祭2025の開催

千葉開府900年を来年に控える本年度は、本市の歴史、文化、自然などに触れてもらい、地域の魅力を再発見し、郷土への愛着と誇りを育む機会を提供する

千葉開府900年に向けた取組み

- 1126年6月1日
桓武天皇の子孫、常重(つねしげ)が
現在の中央区亥鼻付近に本拠を移す
→千葉市のまちとしての歴史の始まり
- 2026年は千葉開府900年
歴史的節目を、市民をはじめとする多様な主体と分かちあい、
より豊かな未来につなげていく契機とする
ひとづくり、文化づくり、まちづくりに資する記念事業を行う



※記念パレードイメージ

- 今後の主な記念事業
 - ・ 高校生アントレプレナーシップ教育プログラム（2025年11月～2027年3月）
 - ・ 記念まつり〔TIP STAR DOME CHIBA(千葉公園)〕（2026年6月）
 - ・ 千葉市美術館企画展（2026年9月16日～11月23日）
 - ・ 記念パレード〔千葉駅前大通り〕（2026年11月21日）
 - ・ 記念サイクリング（2026年秋）
 - ・ 記念ウォーキング（2027年2月）
〔コースはいずれも、緑区大椎町～中央区亥鼻〕

千葉国際芸術祭2025の開催

- ・ 参加型芸術祭として、「ちから、ひらく。」をコンセプトに開催
- ・ 見出した地域の魅力を活かしつつ、2026年度はプレ会期イベントを企画・実施



脱皮的彫刻



パレルワールド



千葉国際芸術祭 2025
Chiba City Arts Triennale 2025
ちから、ひらく。

千葉開府900年に向けた取組み・郷土博物館のリニューアル

新たなひとと地域のつながりを広げながら、歴史や自然など地域の価値を再認識することで、まちへの愛着と誇りを育む

郷土博物館のリニューアル



千葉市立郷土博物館
CHIBA CITY FOLK MUSEUM

- 陸と海・人とモノを結ぶ「千葉」を展示テーマに、千葉氏をはじめとする郷土のあゆみを楽しみながら学べる博物館にリニューアル（オープンは11月8日）
- 3万年を超える千葉市の通史を、そのダイナミズムとともに原始・古代、中世、近世、近現代の4つの時代から紹介
- 子どもから大人まで楽しめる「体験展示」や「映像」に加え、スマホで展示の詳しい解説などが見られる「千葉介ナビ」を導入
とこなめちようけいこ
- 常滑長頸壺などの貴重な資料に加えて、**市内最古！**
さかのこしきどき
リニューアルに伴い、坂ノ越式土器なども新たに展示



いにしえチバウォール



中世まちなみグラフィック



常滑長頸壺（市指定文化財）

「まちなみグラフィック」を見れば、千葉氏の下で発展した千葉のまちと、そこで生きた人々のことがよく分かるんだ！

のまくん

こどもから大人まで楽しめるから、遊びに来てね！



きさごちゃん

フロアガイド（記載内容は観覧動線の順番）

各フロアのみどころを紹介して進めよう！



千葉介（ちばのすけ）

エントランス、企画展示・講座室
1F ・歴史を楽しく学ぶ千葉介の「虎の巻」
・千葉開府900年記念の千葉氏特別展など

5F 展望と千葉市のみどころ
・ちば一望ラウンジ

千葉市の今昔を見渡す！

原始・古代エリア
4F ・いにしえチバウォール
・木簡象徴展示
・在来馬の復元模型

千葉のルーツ！

中世エリア
3F ・中世まちなみグラフィック
・千葉氏シアター
・連歌メーカー

千葉氏のことがまるわかり！

近世エリア 近現代エリア
2F ・五大力船1/4スケール復元模型
・五大力船積荷ハンズオン
・市制施行記念アーチの再現

900年の歴史を受け継ぎ、地域のちからを未来につなげる

千葉開府 900年
千の葉に 時を刻んで 900年

11月

12月

2026年

1月

2月

3月

4月

5月

6月

7月

8月

9月

10月

2026年度は千葉開府900年記念期間！

千葉開府900年
に関するイベント
が盛り沢山！！

【1/23～3/8】
特別展「千葉氏と城館－
住まう・治める・戦う－」
【博物館開催】



6/1は千葉開府の日

【2/27～3/8】
千葉開府900年記念
小中学生絵画展
(イオンモール幕張新都心)



千葉城
さくら祭り



同時
開催！



千葉ロッテ
シーズン
開幕



6/1
千葉開府
900年
記念式典
6月上旬
千葉開府
900年記
念まつり

YohaS
2026

8/2
1000万人ラジオ体
操・みんなの体操祭
(ZOZOマリンスタ
ジアム)

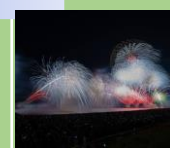
8/22
千葉氏 9月末～10月実施
サミット 記念
サイクリング

【7月～9月】
特別展「全国に広がった
千葉氏（仮称）」
【博物館開催】

【10月～12月】
「千葉氏がつくったま
ちの900年（仮称）」
【博物館開催】



8月上旬
幕張ビーチ
花火
フェスタ



8月中旬～下旬
千葉の
親子三代
夏祭り



8月上旬
ジェフ
ユナイテッド
千葉開幕



アルティーリ
千葉シーズン
開幕



11/8～

郷土博物館
リニューアルオ
ープン



J1昇格に向け
躍進中！！



ジェフ
ユナイテッド千葉